

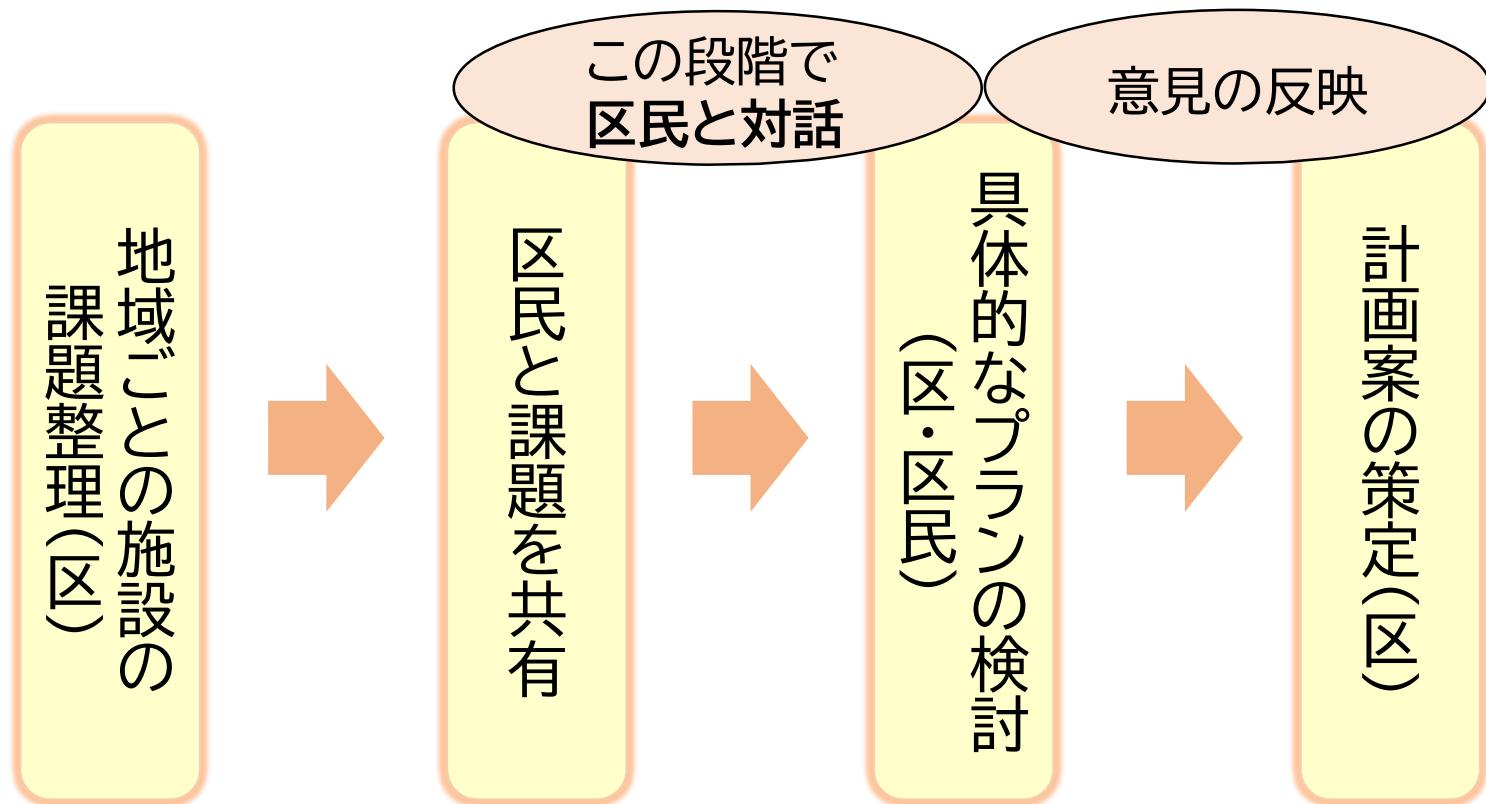
旧上荻窪会議室等の跡地活用と 周辺施設の検討

ワークショップ等の取組

令和6年(2024年)10月

この取組に至った経緯

- 区では、区立施設の老朽化等の課題に対応するため、平成26年(2014年)に「杉並区区立施設再編整備計画」を策定し、取組を進めてきました。
- 一方で、これまでの取組の進め方においては、施設利用者や地域の皆さんなどの意見を十分に反映できていなかったことが大きな課題でした。
- そこで、今後は計画の検討段階から施設利用者や地域の実情を一番理解している地域の皆さんの意見を聴きながら、共に計画案をつくり上げていくこととしました。



■スケジュール

ワークショップのほか、地域意見交換会(オープンハウス形式)の実施や対象施設の近隣住民等を対象とした意見聴取(ポスティング)、施設利用者等に対する意見聴取を通じて、地域の皆さんとの対話を行い、皆さんの意見を踏まえた上で最終的に区が計画案を決定します。その後、12月にパブリックコメントを実施し、令和7年(2025年)1月に計画を策定する予定です。

●区民の皆さんとの取組

- ・ワークショップ
- ・施設利用者や近隣住民等からの意見聴取
- ・地域意見交換会(オープンハウス形式)

6年4月以降

6年11月

6年12月

7年1月

7年4月以降

施設整備
プランの検討

計画案
決定

パブリック
コメント

計画策定

取組実施

ワークショップ全体のスケジュール・テーマ等

	回	日程	テーマ
情報共有 土台作り	第1回	令和6年 (2024年) 4月21日(日)	ワークショップの目的、公共施設マネジメントの内容、対象施設について知ろう！
	第2回	令和6年 (2024年) 5月26日(日)	旧上荻窪会議室等跡地の活用方法について考えよう！
具体的な 取組案 (プラン) の検討	第3回	令和6年 (2024年) 6月23日(日)	第1回～第2回で出た意見を踏まえて区が作成した複数プラン(たたき台)をもとに、各プランの良いと思う点、改善が必要な点、解決策等を意見交換しよう！
	第4回	令和6年 (2024年) 7月14日(日)	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティふらっとを視察し、施設の概要や事業内容等について理解を深めよう！・第3回の意見を踏まえた上で、施設整備プランの策定に向けてポイント(論点)を絞って意見交換しよう！
	第5回	令和6年 (2024年) 9月14日(土)	<ul style="list-style-type: none">・第4回までの意見や地域意見交換会、施設利用者の意見等を踏まえて、ワークショッププランをまとめよう！・全5回のワークショップを振り返って、感想等を共有しよう！

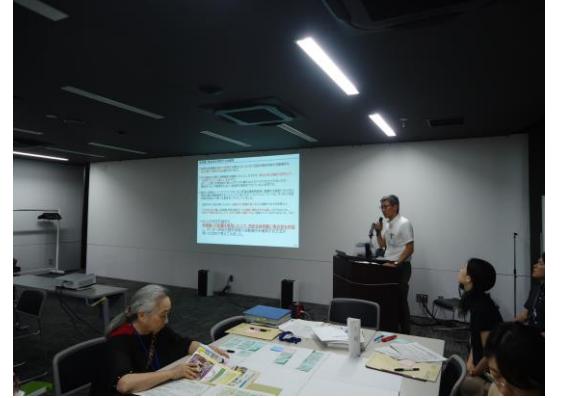
情報共有 土台づくり

情報共有・土台づくりの手法

ワークショップの前半(第2回まで)は、具体的なプランの検討に向けて必要な情報の共有(土台づくり)を、以下の手法を用いて行いました。

■区からの説明

施設マネジメントの必要性や各対象施設が目指す姿、課題等を説明しました。



■グループワーク

区からの説明を受けて、良いと思った点・疑問点などについてグループで共有するワークを行いました。また、他の班で出た意見を全体で共有するために、各班で作成した模造紙を見て回る時間を確保しました。グループワーク全体を通して、「グループワークで他の方の意見や質問を聞くうちに理解が進む部分があった」「限られた土地の中での建替えなので、この地域の特色をみんなで考えていきたい」等の意見がありました。



■施設見学

対象となっている施設を実際に見学し、区職員から施設の概要・目的などをお伝えしました。施設見学を通して「身近な地域にこのような施設があることを初めて知った」等の意見がありました。また、施設見学に行けなかった方へは、資料を用いて施設の概要・目的等を区からお伝えしました。



このワークショップの目的

旧上荻窪会議室等跡地をどのように活用していくのかを中心に、周辺の西荻北保育園やゆうゆう西荻北館等の古くなった施設への対応も含めて、様々な立場の皆さんと共に考えるため、ワークショップを開催しました。

■主な対象施設

施設名	築年数	延床面積	備考
旧上荻窪会議室等	老朽化により 解体済	473.68㎡ (旧上荻窪会議室)201.72㎡ (ゆうゆう上荻窪館)182.35㎡ (ケア24上荻)89.61㎡	解体前は、 旧上荻窪会議室 ゆうゆう上荻窪館 ケア24上荻が併設
ゆうゆう上荻窪館 (暫定移転先)	築57年	248.80㎡	旧上荻窪会議室等の 解体に伴い、 ゆうゆう上荻窪館、 ケア24上荻は杉並 会館に暫定移転
ケア24上荻 (暫定移転先)	築57年	75.6㎡	
西荻北保育園 ゆうゆう西荻北館	築51年	保育園:648.65㎡ ゆうゆう館:229.77㎡	併設施設



▲旧上荻窪会議室等
(解体済)



▲ゆうゆう上荻窪館
ケア24上荻
(杉並会館内)



▲西荻北保育園
ゆうゆう西荻北館

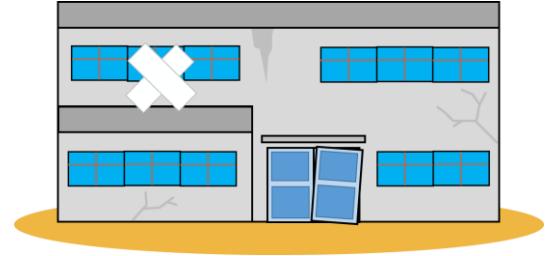
区立施設が抱える課題と検討に当たっての視点

■区立施設が抱える課題

①施設の老朽化

築50年以上の建物が区立施設全体で約3割を超えており、施設の老朽化が進んでいます。区立施設は今後まさに改築時期のピークを迎えます。

▷区立施設は区民共有の財産であるため、地域全体・区全体を俯瞰して今後のあり方を考える必要があります。



②区民ニーズの変化への対応

区立施設の多くが整備された高度経済成長期と現在では、大きく時代も変化しており、求められる施設や機能も変化しています。

▷現世代はもちろんのこと、将来世代のニーズや財政上の負担等も考慮する必要があります。

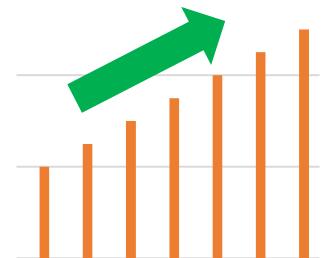


③限られた財源の中での施設整備

杉並区においても人口減少・少子化が見込まれます。それにより、働き世代が減少することで税収が減り、福祉や医療にかかるお金である社会保障関連経費が増加することが見込まれ、相対的に施設に使えるお金はこれまで以上に限られてきます。

▷将来的な財政状況を踏まえて、限られた資源・財源を最大限に有効活用していく必要があります。

社会保障関連経費



■全体最適・長期最適の視点

○公共施設は区民共有の財産であることから、地域全体・区全体を俯瞰して今後のあり方を考える必要があります。

○新たに施設を整備する場合は、現在の区民だけでなく、将来世代の区民も利用するものであることから、現世代はもちろんのこと、将来世代のニーズや財政上の負担等も考慮する必要があります。

○将来的な財政状況を踏まえると、不安定な部分も多く、厳しい状況が続くことも想定されることから、限られた資源・財源を最大限に有効活用していく視点が欠かせません。



“全体最適・長期最適”

の視点を持ちながら検討していく必要性を共有しました。

旧上荻窪会議室等跡地の概要

- 旧上荻窪会議室をはじめとした「区民事務所会議室」は出張所の廃止後、会議室部分を町会や青少年育成委員会等の地域団体の活動場所等として活用してきました。
- 施設の老朽化が進んでいること等もあり、町会や青少年育成委員会等の活動を継承するための代替施設を確保した上で、段階的に廃止しています。

■旧施設概要

所在地:上荻3-16-6
 建築年度:昭和38年度(1963年度)
 敷地面積:591.93㎡
 延床面積:473.68㎡
 施設構成:旧上荻窪会議室(201.72㎡)
 ケア24上荻(89.61㎡)
 ゆうゆう上荻窪館(182.35㎡)



- 令和4年(2022年)12月をもって、旧上荻窪会議室は廃止し、ケア24上荻・ゆうゆう上荻窪館は杉並会館に暫定移転しました。
- 建物は、老朽化が進んでいたことから解体しました。
(令和6年(2024年)2月解体工事完了)

■旧上荻窪会議室の概要

○稼働率

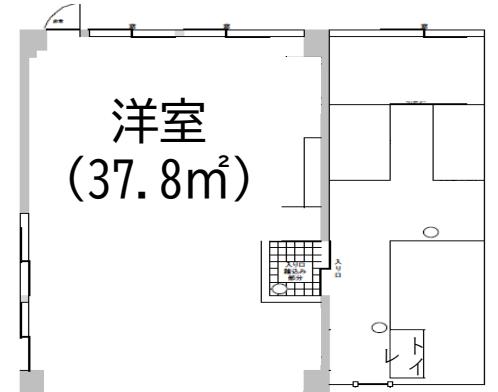
(令和元年度(2019年度))

施設全体	9~12時	13~15時	16~18時	19~21時
78%	92%	74%	67%	78%

(令和3年度(2021年度))

施設全体	9~12時	13~15時	16~18時	19~21時
57%	76%	66%	58%	26%

【平面図】



【写真(洋室)】



ゆうゆう館とは

■利用対象者

杉並区にお住まいの60歳以上の方々

■施設数

26施設(令和6年(2024年)10月時点)
※昭和38年(1963年)に上荻窪敬老会館を開設して以降、各地域に3~6か所(合計32館)の敬老会館(現ゆうゆう館)を設置してきました。現在は、32館のうち、6館をコミュニティふらっとに機能継承しています。

■開館時間

午前9時~午後9時
(日曜日・祝日)午前9時~午後5時
(第3木曜日) 午後1時~午後9時

■利用方法

- ①個人利用:一般和室または談話室・談話コーナーで、テレビ、囲碁、将棋などを自由に利用可能です。お一人でもご利用になれます。
- ②団体利用:趣味やいきがいづくりなどの活動(※)に、洋室、和室、茶室、講座室、多目的室、ホールなどを利用できます。
※コーラス、カラオケ、体操、書道、囲碁、輪投げなど
- ③目的外使用:空いている部屋がある場合は、一般の方も使用できます(要事前予約/有料)。

■施設の特徴

- ・築40年以上の施設が16館あり、施設の老朽化が進んでいます。
- ・他施設(特に保育園)との併設が多くみられます(保育園との併設:12館)。

■利用人数の推移等(ゆうゆう館全体) ※協働事業参加者等を含む

(利用人数)

令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
394,142人	184,956人	242,131人	263,188人	276,156人

(年齢別利用者割合(令和5年(2023年)度 ※ゆうゆう今川館を除く、協働事業参加者等を含む)

60歳未満	60代	70代	80代	90歳以上
3.9%	7.8%	40.8%	41.9%	5.6%

■高齢者の区立施設の利用に関するアンケート(令和5年(2023年)6月実施)

(対象)無作為抽出した60歳以上の区民1,400人

(回答)462人/1,400人(回答率:33%)

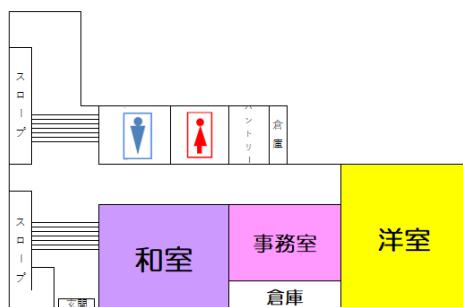
(設問)趣味や学習、運動等の活動をどこの区立施設で行っているか。

ゆうゆう館	区民集会所、区民会館	コミュニティふらっと	その他区立施設	区立施設を利用していない
16.5%	10.0%	3.1%	20.2%	50.1%

ゆうゆう上荻窪館の概要

■築年数・延床面積・部屋数等

築年数	延床面積	和室	洋室	構造
57年	248.80㎡	44.9㎡	58.5㎡	鉄筋コンクリート造 エレベーター未設置



▲平面図



▲和室



▲洋室

■活動団体数

23団体(令和6年度(2024年度)上半期)

■団体人数

210人(令和6年度(2024年度)上半期)

■利用者の傾向

- ・70代、80代の利用者が多い
(令和5年度(2023年度))
- ・団体利用の登録は周辺住民(※)が約41%となっている。
※施設から半径500m圏内の丁目にお住まいの方

60代	70代	80代	90歳以上
7.4%	44.4%	41.9%	5.6%

※小数点第2位四捨五入

■稼働率(茶室等を除く)

(令和元年度(2019年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室	64%	90%	77%	45%
和室		55%	69%	43%

(参考)

ゆうゆう館全体稼働率
⇒約58%
(高齢者活動支援センター
は含まず)

(令和4年度(2022年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室	56%	88%	79%	34%
和室		44%	69%	16%

(参考)

ゆうゆう館全体稼働率
⇒約50%
(高齢者活動支援センター
は含まず)

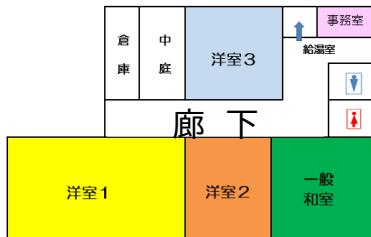
■利用人数の推移(ゆうゆう上荻窪館) ※協働事業参加者等を含む

令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
8,723人	4,159人	5,901人	7,085人	7,187人

ゆうゆう西荻北館の概要

■ 築年数・延床面積・部屋数等

築年数	延床面積	洋室1	洋室2	洋室3	構造
51年	229.77㎡	62.1㎡	23.8㎡	33.2㎡	鉄筋コンクリート造 エレベーター未設置



▲ 平面図



▲ 洋室1



▲ 洋室2



▲ 洋室3

■ 活動団体数

37団体(令和6年度(2024年度)上半期)

■ 団体人数

391人(令和6年度(2024年度)上半期)

■ 利用者の傾向

- ・70代、80代の利用者が多い
(令和5年度(2023年度))
- ・団体利用の登録は周辺住民(※)が約35%となっているが区外の住民の登録もある。
※施設から半径500m圏内の丁目にお住いの方

60代	70代	80代	90歳以上
11.5%	45.5%	36.7%	5.6%

※小数点第2位四捨五入

■ 稼働率(茶室等を除く)

(令和元年度(2019年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室1	70%	80%	80%	58%
洋室2		75%	86%	47%
洋室3		77%	72%	41%

(参考)
ゆうゆう館全体稼働率
⇒約58%
(高齢者活動支援センターは含まず)

(令和4年度(2022年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室1	60%	66%	87%	53%
洋室2		64%	66%	48%
洋室3		72%	58%	16%

(参考)
ゆうゆう館全体稼働率
⇒約50%
(高齢者活動支援センターは含まず)

■ 利用人数の推移(ゆうゆう西荻北館) ※協働事業参加者等を含む

令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
14,504人	7,187人	9,464人	11,068人	11,350人

「乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設」

■コミュニティふらっと(標準規模)のイメージ

集会室などの貸室は、町会・自治会の活動や、文化や趣味等のグループ活動に利用できるほか、講座や多世代交流イベントへの参加を通じて、身近な地域における世代を超えた交流や、コミュニティづくりができます。

ラウンジは、予約なしに誰でも利用することができるスペースです。地域の方々のちょっとした打合せはもちろん、読書や勉強、飲食しながらおしゃべりなど、様々な利用ができます。

施設の規模に応じて、地域の発表会や多世代交流イベントなどに活用できるように、集会室よりも広さのある多目的室を設置します。



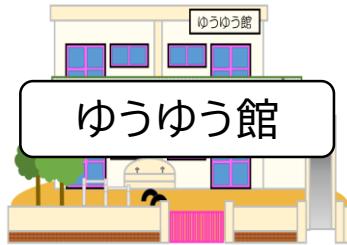
ゆうゆう館を利用している団体の活動場所を確保することができるよう、一部の部屋・時間帯に高齢者団体優先枠を設け、一般利用者等とのタイムシェアをしていきます。

受付窓口では、高齢者への声掛けや日常の相談なども行い、地域の皆さんとゆるやかにつながる施設とします。

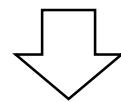
近隣に子ども・子育てプラザ等がない地域では、乳幼児親子が予約なしに気軽に利用できるスペースである乳幼児室を設置します。

■コミュニティふらっとの設置に至った経緯

○区立施設再編整備計画に基づく区民集会所やゆうゆう館等のコミュニティふらっとへの再編



- ・地域社会との関係の希薄化
- ・「社会的孤立」が問題に



施設や部屋、時間帯によって、稼働率にばらつきがあり、施設全体で見ると、平均稼働率は50%程度にとどまっている。

世代を超えた地域住民同士のつながりや支えあいが求められている。



施設の有効活用や世代を超えた地域住民同士のつながりを促進する観点から、新たな地域コミュニティ施設である「コミュニティふらっと」へと再編整備する取組を進めてきました。

※現在までに、阿佐谷、東原、馬橋、永福、成田、方南、本天沼の7施設を開設。

今後、新たに1施設が開設する予定(高円寺南)。

■コミュニティふらっとにおける高齢者団体優先枠とは

- ゆうゆう館を利用している団体の活動場所を確保することができるよう、一部の部屋・時間帯に「高齢者団体優先枠」を設け、一般利用者に先駆けて申し込みができる仕組みとしています。
- 1団体当たり月に8枠(2部屋を一体使用する場合は2枠という扱い)までは使用料を免除します。
- 「高齢者団体優先枠」を振らない部屋・時間帯も設けることにより、一般利用者とのタイムシェアを図っています。

■高齢者団体優先枠のイメージ

	午前 (9時～12時)	延長	午後1 (13時～15時)	延長	午後2 (16時～18時)	延長	夜間 (19時～21時)
部屋A	優先枠		優先枠		優先枠		優先枠
部屋B	優先枠		優先枠		優先枠		
部屋C							
部屋D							

埋まらなかった枠は、一般利用者の枠になります。

このほか、「高齢者団体優先枠」の申込等は施設の窓口で受け付けることや、半期ごとに抽選申込を行うことなど、ゆうゆう館の運用方法を一部引き継いでいます。

■ゆうゆう館からコミュニティふらっとへ移行した団体数

施設名	団体数	移行した団体数	割合
ゆうゆう阿佐谷館 →コミュニティふらっと阿佐谷	105	92	87.6%
ゆうゆう阿佐谷北館 →コミュニティふらっと東原	30	27	90.0%
ゆうゆう馬橋館 →コミュニティふらっと馬橋	25	25	100%
ゆうゆう浜田山館 →コミュニティふらっと成田	29	18	62.1%
ゆうゆう方南館 →コミュニティふらっと方南	27	26	96.3%
ゆうゆう天沼館 →コミュニティふらっと本天沼	43	38	88.4%
合計	259	226	87.3%

移行しなかった理由として、「コミュニティふらっとが利用していたゆうゆう館より遠くなった」、「団体のメンバーの高齢化等により、このまま活動することが難しくなっていたので、これを機会に活動をやめた」、「コミュニティふらっとの部屋がゆうゆう館より狭くなり、活動できなくなった」などの声をいただいています。

西荻北保育園の概要

■今後の区の保育園の方向性について

- 杉並区では、平成30年度(2018年度)に、待機児童ゼロを実現しました。ただし、「待機児童」は、認可保育所・認可外保育所のいずれにも在籍していない児童を指すもので、平成30年(2018年)時点では希望する全員を認可保育所で受け入れることはできませんでした。
- そこで、認可外保育所の認可化移行による保育施設の整備等を行った結果、令和5年度(2023年度)には保育需要に応える必要な保育定員を確保できました。そのため、区立園においては当面の間、新規整備を行いません。また、私立園においても当面、数値目標を定めての新規整備は行いません。
- 保育施設が充実した一方で、急増した私立園の保育の質の維持・向上のため、区立園が中心となって私立園との連携・研修等の支援に取り組んでいます。そのため、区立園の重要性が増していることから、当面の間、民営化や廃止を行わず27園を維持していく方針です。

■西荻北保育園が属する地域の保育需要

年度	定員	児童数	割合
令和3年度 (2021年度)	1,037人	980人	94.5%
令和4年度 (2022年度)	1,134人	1,039人	91.6%
令和5年度 (2023年度)	1,162人	1,088人	93.6%

■築年数

51年

■敷地面積

1,158.35㎡

■延床面積

648.65㎡

■園庭面積

345.24㎡

■定員数・在籍児童数

・定員数 :86人

・在籍児童数:85人

※令和6年(2024年)4月時点

在籍児童数は3・4月が少なく、12・1月に多くなる傾向にあります。

■西荻北保育園の特色

○平成18年度(2006年度)より桃井第三小学校と連携事業(職員同士の交流や意見交換)を行っています。

○中核園として同じ地域にある各保育施設と連携・情報共有を行っています。

地域包括支援センター(ケア24)上荻の概要

■地域包括支援センター(ケア24)とは

地域包括支援センター(ケア24) = 高齢者等の総合相談窓口

※保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等の保健・福祉の専門職が、相談対応しています。

○主な業務

総合相談・権利擁護

- 高齢者又はご家族からの相談対応(介護や認知症のこと等)
- 高齢者虐待への対応
成年後見制度の活用促進等
- プライバシーに配慮した相談支援

ケアプラン作成

介護保険の認定(要支援1・2)を受けた方のサービス計画を作成

地域づくり

高齢者が安心して暮らし続けられる地域となるよう、様々な機関と連携・協働による取組を推進

地域のケアマネジャーの支援

地域のケアマネジャーからの相談対応・支援

○区内の設置状況

- 区内20か所に設置
※おおよそ高齢者人口5,000人から7,500人の区域を担当
- 職員数:各所7人程度
- 受付時間:平日9時~19時
土 9時~13時
※いずれも祝日は除く
※電話相談は24時間受付

○主な利用者層

- 高齢者及び家族
- 地域の高齢者の様子が気になった方
- ケアマネジャー
- 地域づくり関係者・団体

■地域包括支援センター(ケア24)上荻の概要

○担当区域の状況

- 今 川3丁目・4丁目
- 桃 井3丁目・4丁目
- 上 荻2丁目・3丁目・4丁目
- 西荻北1丁目・2丁目

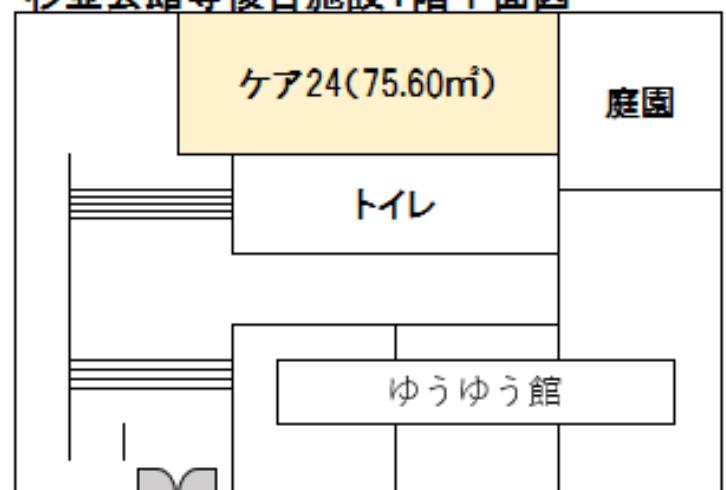
※区域内人口(令和6年(2024年)4月1日時点)
→29,160人(内、高齢者人口6,267人)

○ケア24上荻施設情報

現 杉並会館(築57年)内の1階に設置(使用面積…75.60㎡)
況 ※令和5年(2023年)1月から暫定移転中(移転前は、ゆうゆう上荻窪館1階に設置)

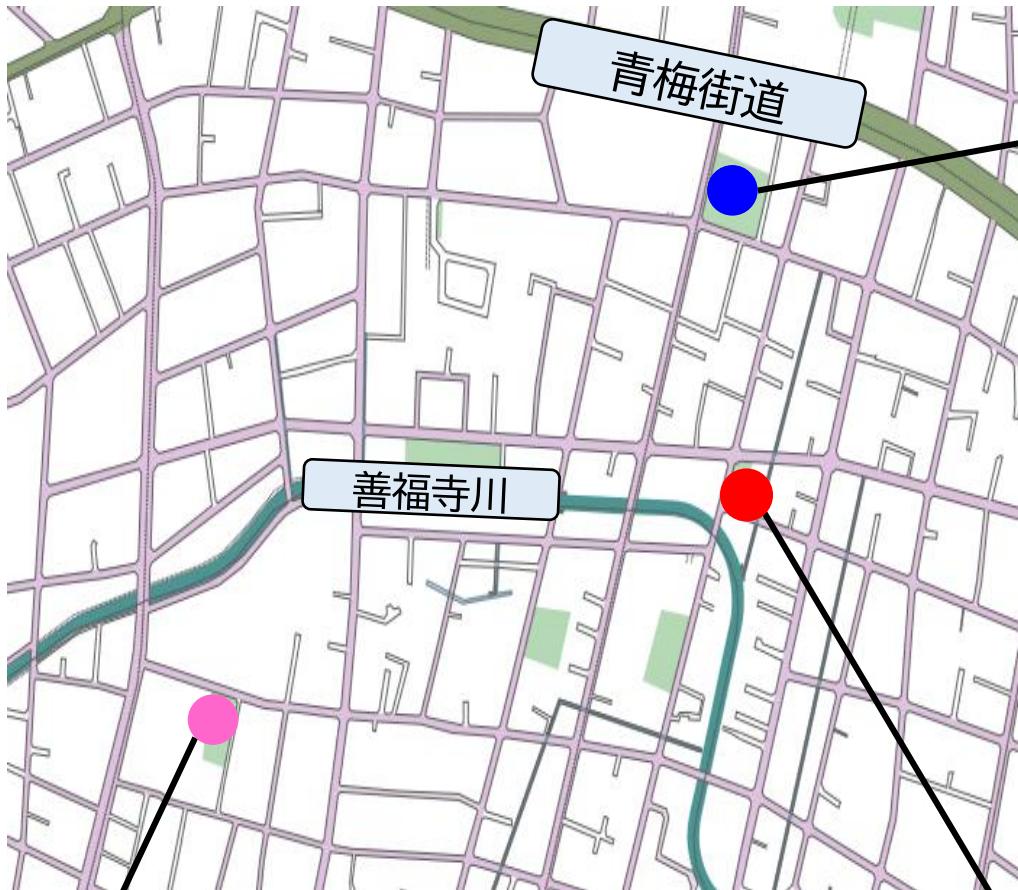


杉並会館等複合施設1階平面図



↑ ゆうゆう館、ケア24出入口

現在の施設配置と施設ごとの建替時に生じる主な課題



C ケア24上荻 ゆうゆう上荻窪館 (杉並会館内)

○ケア24上荻については、杉並会館での運営の継続、旧上荻窪会議室等跡地への移転、民間賃貸物件での運営などの選択肢があり、様々な視点で検討する必要があります。

A 旧上荻窪会議室等跡地

- 令和4年(2022年)12月をもって、旧上荻窪会議室を廃止し、「ゆうゆう上荻窪館」「ケア24上荻」は、杉並会館に暫定移転しました。
- 建物は老朽化が進んでいたことから解体しました。
- 高齢者の活動場所の確保等の観点を踏まえつつ、集会機能を有する施設の整備を視野に取組案を検討することとしています。

B 西荻北保育園 ゆうゆう西荻北館

- 老朽化が進んでおり、保育園の仮設用地や高齢者の活動場所を適切に確保しつつ、速やかに建て替えていく必要があります。
- 西荻北保育園を改築する場合、バリアフリーに配慮した設備や、障害児保育のための諸室等を整備をする必要があります、現在よりも延床面積が増加します。
(現在)648.65㎡
↓
(更新後)約1,000㎡
- ゆうゆう西荻北館は、現在と同規模の面積を確保することが難しくなるため、高齢者の活動機会を確保する観点から検討する必要があります。

情報共有・土台づくりにおいて参加者からいただいた主な意見

各対象施設が目指す姿や、建替え時に生じる課題についての区からの説明を受けて、気になった点などについてグループで共有するワークを行いました。各施設毎の主な意見は以下のとおりでした。

施設名	主な意見
保育園	保育園を改築する際に、大きくする必要がある面積は、園児のために必ず確保するようにしてほしい。
	保育園の増加する面積を確保することも大事だが、そのために活動場所が移動するかもしれないゆうゆう館の利用者のことも考えたい。
ゆうゆう館	高齢者団体の利用は、引き続き無料にしていただかないと、活動が続けられない。
	ゆうゆう館は利用者が多く、抽選になって予約が取れないことがある。
ケア24	ケア24はコミュニティふらっとなどの集会施設と併設させることで、元気なうちにも利用できる施設となって良いのではないかと。予防に関する講座も行える。
	ケアマネジャーなどは大変な状況で働いていると思うので、働きやすい環境を整えてほしい。書類の保管スペースなどは削減できるのではないかと。

各対象施設が目指す姿や、建替え時に生じる課題に関するグループワークを踏まえて、旧上荻窪会議室等跡地の活用方法についてグループで話し合いました。整備する施設に関する意見は以下のとおりでした。

ポイント	主な意見
旧上荻窪会議室等跡地に整備する施設	ゆうゆう館の利用者は80代が多く、10年後に新たに利用している人は少ないと思うので、高齢者専用のゆうゆう館ではなく、コミュニティふらっとを整備するのが良いと思う。
	子どもには児童館があるので、高齢者のために優先枠を確保することが必要だと思う。
	併設することで相乗効果が見込まれるため、コミュニティふらっととケア24を整備するのが良いと思う。
施設内の機能	ラウンジなどは長期休みに子どもで席が埋まってしまうので、大きなスペースを確保することが必要だと思う。
	気軽に入れる施設が良い。ラウンジやギャラリー、新聞が読めるスペースがあると良い。
	赤ちゃんがいるお母さんがちょっと立ち寄れるスペースがあると良い。
	ゆうゆう館としての機能を入れてほしい。
その他	緑の多い施設にしたい。
	どんな施設なのか外から見てわかりやすい方が良い。

具体的な取組案の検討

参加者の意見に基づいたプラン作成

〔プラン作成の視点〕

これまでのワークショップで皆さんからいただいた意見を基に、以下のプラン(ワークショッププラン)を作成しました。

ワークショッププラン①：集会機能の充実を重視したプラン

概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旧上荻窪会議室等跡地に集会施設(コミュニティふらっとorゆうゆう館)を整備 ○西荻北保育園は現地改築。ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保するため、保育園に集会施設(2部屋程度)を併設(ゆうゆう館を想定) ○ケア24上荻は杉並会館に存置 			
施設の配置 (更新後)	場所	旧上荻窪会議室等跡地	西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館	杉並会館
	整備する施設	集会施設 (コミュニティふらっとorゆうゆう館)	保育園+集会施設 (ゆうゆう館を想定)の併設	ケア24

ワークショッププラン②：集会機能と相談環境の充実を重視したプラン

概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旧上荻窪会議室等跡地に集会施設(コミュニティふらっとorゆうゆう館)を整備 ○西荻北保育園は現地改築。ケア24上荻を併設し、高齢者やその家族を支えるための相談スペース等を拡充 			
施設の配置 (更新後)	場所	旧上荻窪会議室等跡地	西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館	杉並会館
	整備する施設	集会施設 (コミュニティふらっとorゆうゆう館)	保育園+ケア24	—

ワークショッププラン③：高齢者向けサービスの充実を重視したプラン

概要	<ul style="list-style-type: none"> ○集会施設(コミュニティふらっとorゆうゆう館)とケア24の併設施設を整備。 ○西荻北保育園は現地改築。ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保するため、保育園に集会施設(2部屋程度)を併設(ゆうゆう館を想定) 			
施設の配置 (更新後)	場所	旧上荻窪会議室等跡地	西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館	杉並会館
	整備する施設	集会施設(コミュニティふらっとorゆうゆう館)+ケア24	保育園+集会施設 (ゆうゆう館を想定)の併設	—

参考：区立施設再編整備計画で計画化していたプラン

概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旧上荻窪会議室等跡地にコミュニティふらっとを整備(ゆうゆう上荻窪館・西荻北館を機能継承) ○西荻北保育園は現地改築(単独)。ケア24上荻は杉並会館に存置 			
施設の配置 (更新後)	場所	旧上荻窪会議室等跡地	西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館	杉並会館
	整備する施設	コミュニティふらっと	保育園(単独)	ケア24

ワークショッププラン作成に当たっての基本的な考え方

施設	考え方
<p>ゆうゆう 上荻窪館</p>	<p>○高齢者の活動場所が移転するものの、集会施設(コミュニティふらっと又はゆうゆう館を想定)を対象地域内に確保し、休止期間なく活動が継続できるようにしています。</p> <p>○新たな施設の開設は令和10年度(2028年度)を予定しています。</p>
<p>ケア24 上荻</p>	<p>○現在の場所(杉並会館)から移転する場合、同程度の面積(約80㎡)を確保することとしています。</p>
<p>西荻北 保育園</p>	<p>○仮設園舎への移転は、現在の在園児の卒園後(令和11年度(2029年度)以降)を想定しています。</p> <p>○仮設園舎は西荻南区民集会所(旧西荻北児童館)を想定しています。</p> <p>○改築する場合、バリアフリーに配慮した設備や、障害児保育のための諸室等を整備をする必要があり、現在よりも延床面積が増加します。 (現在)648.65㎡ ➡ (更新後)約1,000㎡</p>
<p>ゆうゆう 西荻北館</p>	<p>○保育園の面積の増加に伴い、改築後の建物に現在と同規模の面積を確保することは困難です。 (現在)229.77㎡ ➡ (更新後)約200㎡</p> <p>○整備できる集会施設が小規模となり、現行のゆうゆう館と同規模となるため、ゆうゆう館とすることを想定しています。 (⇒プラン①、③)</p> <p>○建物の改築は令和11年度(2029年度)以降を想定しています。</p>

具体的なプランの検討の手法

第2回までにいただいた意見をもとに、区が作成した複数のプランに対して、第3回・第4回・第5回では、以下のとおり具体的なプランの検討を行いました。

■第3回

各プランの概要・メリット・留意点を区からお伝えしました。説明を受けて各プランの良いと思った点・疑問点・改善点についてグループで意見交換を行いました。

また、3つのプランを比較して今後の施設整備で重視してほしい点についても意見交換を行いました。

■第4回

第3回までに、コミュニティふらっとに関する意見が多く出ていましたが、参加者によってはコミュニティふらっとを利用したことがない方や、利用実態がわからない方もいるため、第4回ではコミュニティふらっとを視察し、施設の概要や事業の内容等について理解を深めました。

また、第3回に参加者の中でも意見が分かれていた点である、「旧上荻窪会議室等跡地に整備する集会施設にケア24を併設する必要性」、「西荻北保育園に集会施設を併設する必要性」の2点について深掘りするために、グループワークを行いました。

■第5回

全5回のワークショップの締めくくりとして、第4回までにいただいた意見及び第5回までに実施した地域意見交換会等の結果を踏まえて、ワークショッププランに関する疑問や、修正、追加が必要な点はないか、グループで意見交換を行いました。

また、プランの決定等にあたり、区に大事にしてほしいことや留意してほしいことを話し合いました。

最後には、全5回のワークショップを通じた感想等を一人ずつ発表しました。

※各グループワークでいただいた意見は以下のページで紹介します。

・各プランに対する意見…………… P23.25.27

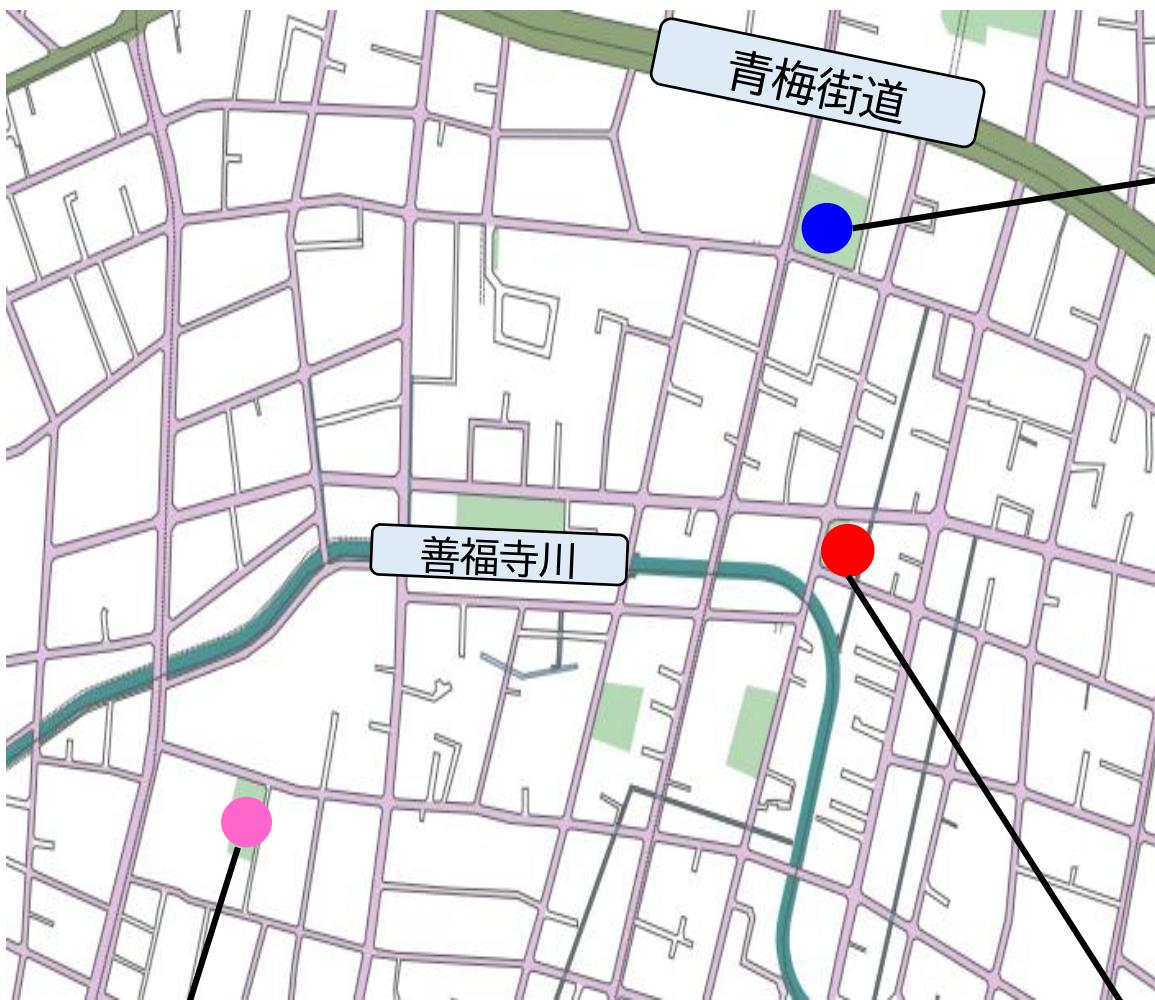
・その他の各論点に関する意見…………… P28

ワークシヨッププラン①

集会機能の充実を重視したプラン

<p>プランのイメージ (更新後)</p>		<p>(参考とした参加者の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多世代が使える施設が欲しい。特に高齢者、幼児が使えるラウンジ的なスペースの充実。 ○高齢者優先枠があっても、他の人もちゃんと利用できるということであればコミュニティふらっとでも良い。 ○会議等で施設を使いたいが、施設数が少なく予約がなかなか取れない。子どもにとっても大人にとっても公共のスペースが少ない。 ○西荻北保育園の場所に、保育園+ミニ集会所はどうか。活動場所がなくなってしまう方のことも考えなくてはいけない。 ○ケア24はそのまま杉並会館でもよいのではないか(新しい施設を最大限活用できるために)。 ○杉並会館からゆうゆう館が出たら、ケア24は相談室等を充実できるのでは。
<p>プランの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旧上荻窪会議室等跡地には集会施設(コミュニティふらっと or ゆうゆう館)を整備。ゆうゆう上荻窪館及び西荻北館の利用者、旧上荻窪会議室の利用者等を受入れ。集会室は5~6部屋程度。(新たな施設は令和10年度(2028年度)に開設予定)。 ○西荻北保育園は現地改築(認可基準を満たすよう整備)。改築は現在の在園児の卒園後を想定(最短で令和11年度(2029年度)以降に解体予定)。ゆうゆう西荻北館は現在と同規模の面積を確保することが難しいが、ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保するため、保育園に集会施設(2部屋程度)を併設(ゆうゆう館を想定)。 ○ケア24上荻は杉並会館で運営を継続。 	
<p>ポイント ○:メリット ●:懸念点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○集会施設(コミュニティふらっと or ゆうゆう館)でゆうゆう館利用者等の受入れに必要な部屋数を確保することができる(活動で使用する面積等により、活動日や時間の調整が必要となる可能性がある)。 ○西荻北保育園に集会施設(ゆうゆう館を想定)を併設することで、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を一定程度確保できる(活動日や時間の調整は必要)。 ●一部のゆうゆう西荻北館利用者については、西荻北保育園に併設する集会施設(ゆうゆう館を想定)の部屋数の減少により、活動回数や活動日、活動場所の調整が必要となる可能性がある。 ●保育園には1階への設置が望ましい諸室(歳児室や調理室等)があるため、集会施設(ゆうゆう館を想定)は地下1階となり、それぞれにエレベーター等の設置が必要になる。なお、必要な園庭面積は地上だけで確保できる。 ●将来的に杉並会館を建て替えるなど更新する際には、ケア24の移転先を確保する必要がある。 <p>【西荻北保育園に併設する集会施設について(現在の延床面積)229.77㎡ ➡ (更新後)約200㎡】 現在 : 3部屋 (洋室1)62.1㎡ (洋室2)23.8㎡ (洋室3)33.2㎡ ※洋室1・2は一体使用が可能(85.9㎡) 更新後 : 2部屋 (集会室1)40㎡程度 (集会室2)25㎡程度 ※一体使用が可能になるよう設置(65㎡程度)</p>	
<p>(参考)コスト試算</p>	<p>【設計・建設費】 ※保育園を単独で改築した場合と比べて集会施設(ゆうゆう館を想定)を併設(約200㎡増)した場合にどの程度の影響があるか試算 (設計費) 約760万円増 (建築費) 約1億3,000万円増 (合計)約1億4,000万円増</p> <p>【エレベーター設置費】 (設置費) 約1,200万円 ※別の集会施設に設置した際の金額。エレベーターは約30年程度で更新が必要。 (ランニングコスト(管理費)) 約100万円/年(保守内容による) ※60年で約8,400万円の増</p>	

プラン①に対する主な意見



C 杉並会館用地に関する意見

○ケア24については、ゆうゆう館移転後のスペースを有効活用できることなどから、杉並会館内に存置すべきとの意見が多く出されましたが、杉並会館の建替え時に移転先を検討するのであれば、存置するのはその場しのぎではないかといった意見や、集会施設との併設によるメリットがあるとの意見もありました。

B 西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館用地について

○西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館用地については、現在のゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を現地で確保するために、集会室2部屋を整備した方がよいという意見もありましたが、保育園を単独で整備し、保育施設として十分な面積を確保すべきとの意見もありました。また、エレベーターの設置などによるコスト増を懸念して、保育園と集会施設の併設に反対する意見もありました。

A 旧上荻窪会議室等跡地に関する意見

○旧上荻窪会議室等跡地に整備する集会施設については、多世代で利用できる施設を求める意見が多く出されましたが、高齢者優先枠を設けるなど、高齢者への配慮を求める意見がありました。一方で、旧上荻窪会議室等跡地にもゆうゆう館を残してほしいとの意見もありました。

ワークシヨツププラン②

集会機能と相談環境の充実を重視したプラン

<p>プランのイメージ(更新後)</p>		<p>(参考とした参加者の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケア24を西荻北保育園と併設したらよいのではないか。 ○西荻北保育園の改築時にケア24もそこに入れて欲しい。 ○ケア24は個人情報保護の観点から、不特定多数の利用者がいる施設にふさわしくないのでは。
<p>プランの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旧上荻窪会議室等跡地には集会施設(コミュニティふらっと or ゆうゆう館)を整備。ゆうゆう上荻窪館及び西荻北館の利用者、旧上荻窪会議室の利用者等を受入れ。集会室は5～6部屋程度(新たな施設は令和10年度(2028年度)に開設予定)。 ○西荻北保育園は現地改築(認可基準を満たすよう整備)。改築は現在の在園児の卒園後を想定(最短で令和11年度(2029年度)以降に解体予定)。 ○西荻北保育園にケア24上荻を併設。 	
<p>ポイント ○:メリット ●:懸念点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○集会施設(コミュニティふらっと or ゆうゆう館)でゆうゆう館利用者等の受入れに必要な部屋数を確保することができる(活動で使用する面積等により、活動日や時間の調整が必要となる可能性がある)。 ○保育園とケア24の併設により、ダブルケアラー(子育てと親や親族の介護を同時期に行う人)が相談しやすい環境の整備が期待できる(保育園の送迎と合わせて親の介護相談ができるなど)。 ●ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所が移転する(現在の場所に活動できるスペースがなくなるため)。 ●保育園には1階への設置が望ましい諸室(歳児室や調理室等)があるため、ケア24は地下1階となり、それぞれにエレベーター等の設置が必要になる。なお、必要な園庭面積は地上だけで確保できる。 	
<p>(参考)コスト試算</p>	<p>【設計・建設費】 ※保育園を単独で改築した場合と比べて、ケア24を併設(約80㎡増)した場合にどの程度の影響があるか試算 (設計費) 約300万円増 (建築費) 約5,100万円増 (合計)約5,400万円増</p> <p>【エレベーター設置費】 (設置費) 約1,200万円 ※別の集会施設に設置した際の金額。エレベーターは約30年程度で更新が必要。 (ランニングコスト(管理費)) 約100万円/年(保守内容による) ※60年で約8,400万円の増</p>	

プラン②に対する主な意見



B 西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館用地について

○保育園とケア24の併設については、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を確保できなくなるなどの理由から、併設に反対する意見が多くありました。

また、エレベーターの設置などによるコスト増を懸念して、保育園とケア24の併設に反対する意見もありました。

A 旧上荻窪会議室等跡地に関する意見

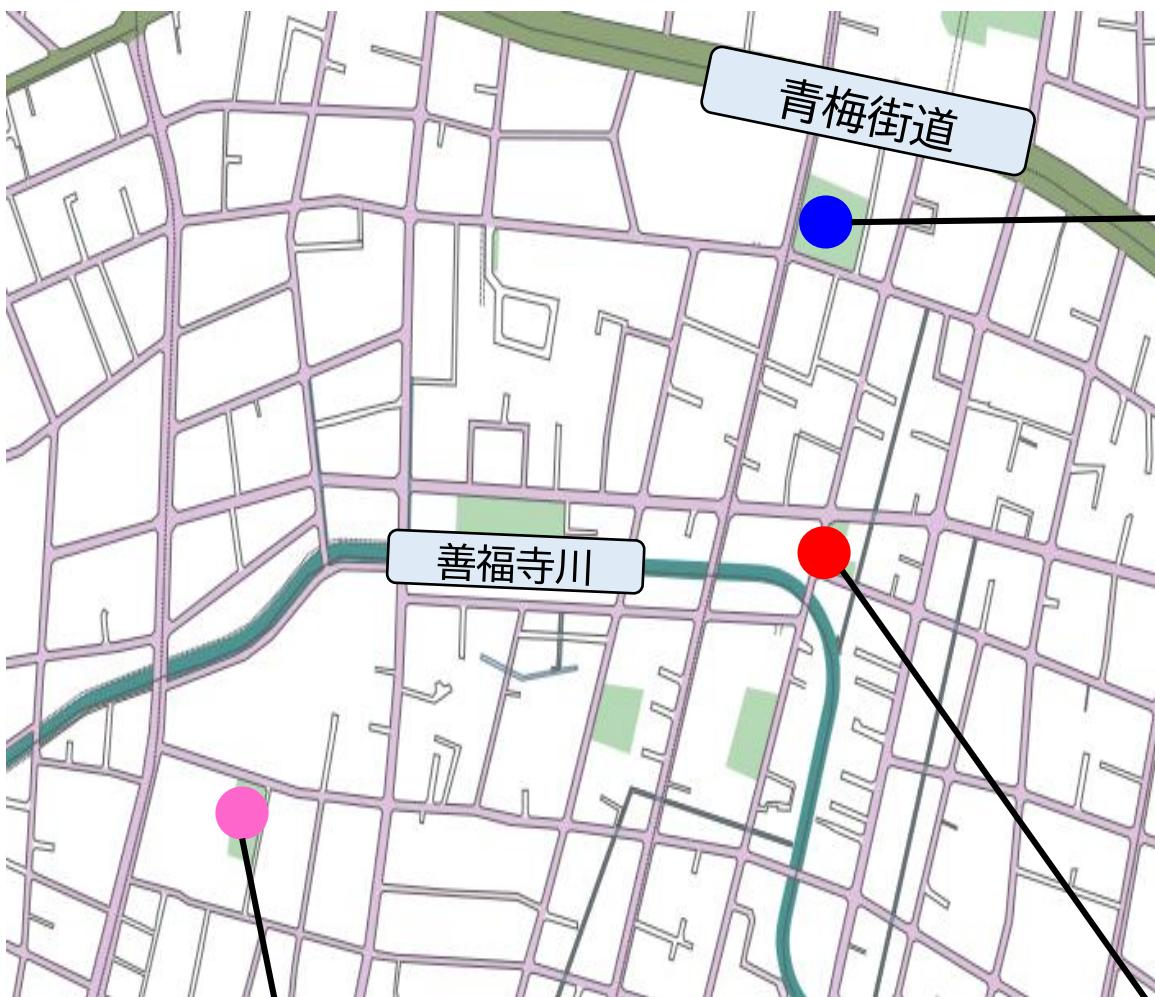
○旧上荻窪会議室等跡地に整備する集会施設については、多世代で利用できる施設を求める意見が多く出されましたが、高齢者優先枠を設けるなど、高齢者への配慮を求める意見がありました。一方で、旧上荻窪会議室等跡地にもゆうゆう館を残してほしいとの意見もありました。

ワークショッププラン③

高齢者向けサービスの充実を重視したプラン

<p>プランのイメージ (更新後)</p>		<p>(参考としたワークショップ参加者の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケア24とゆうゆう館が同じ場所の方が馴染みやすい。 ○旧上荻窪会議室等跡地にケア24を戻した方が良い。高齢者は増えていく。大切にしたい方が良い。 ○コミュニティふらっとは同じスペースで使用対象が多世代になるので安全面からも反対。高齢者の使用に配慮した施設にした方が良い。
<p>プランの内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○旧上荻窪会議室等跡地には集会施設(コミュニティふらっと or ゆうゆう館)とケア24の併設施設を整備。集会室は4部屋程度(新たな施設は令和10年度(2028年度)に開設予定)。 ○西荻北保育園は現地改築(認可基準を満たすよう整備)。改築は現在の在園児の卒園後を想定(最短で令和11年度(2029年度)以降に解体予定)。ゆうゆう西荻北館は現在と同規模の面積を確保することが難しいが、ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保するため、保育園に集会施設(2部屋程度)を併設(ゆうゆう館を想定)。 	
<p>ポイント ○:メリット ●:懸念点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○西荻北保育園に集会施設(ゆうゆう館を想定)を併設することで、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を一定程度確保できる(活動日や時間の調整は必要)。 ○ゆうゆう館とケア24上荻を併設する場合、高齢者向けサービスの充実が期待できる。 ●一部のゆうゆう西荻北館利用者については、西荻北保育園に併設する集会施設(ゆうゆう館を想定)の部屋数の減少により、活動回数や活動日、活動場所の調整が必要となる可能性がある。 ●西荻北保育園及びゆうゆう西荻北館の改築期間中は集会室が不足するため、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所の確保が困難となる。 ●保育園には1階への設置が望ましい諸室(歳児室や調理室等)があるため、集会施設(ゆうゆう館を想定)は地下1階となり、それぞれにエレベーター等の設置が必要になる。なお、必要な園庭面積は地上だけで確保できる。 <p>【西荻北保育園に併設する集会施設について(現在の延床面積)229.77㎡ ➡ (更新後)約200㎡】 現在: 3部屋 (洋室1)62.1㎡ (洋室2)23.8㎡ (洋室3)33.2㎡ ※洋室1・2は一体使用が可能(85.9㎡) 更新後: 2部屋 (集会室1)40㎡程度 (集会室2)25㎡程度 ※一体使用が可能になるよう設置(65㎡程度)</p>	
<p>(参考)コスト試算</p>	<p>【設計・建設費】 ※保育園を単独で改築した場合と比べて集会施設(ゆうゆう館を想定)を併設(約200㎡増)した場合にどの程度の影響があるか試算 (設計費) 約760万円増 (建築費) 約1億3,000万円増 (合計)約1億4,000万円増</p> <p>【エレベーター設置費】 (設置費) 約1,200万円 ※別の集会施設に設置した際の金額。エレベーターは約30年程度で更新が必要。 (ランニングコスト(管理費)) 約100万円/年(保守内容による) ※60年で約8,400万円の増</p>	

プラン③に対する主な意見



C 杉並会館用地に関する意見

○A地点の集会施設において集会室が不足するのであれば、現在、ゆうゆう上荻窪館やケア24で使用しているスペースを集会室として活用してもいいのではないかとの意見がありました。

B 西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館用地について

○西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館用地については、現在のゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を現地で確保するために、集会室2部屋を整備した方がよいという意見もありましたが、保育園を単独で整備し、保育施設として十分な面積を確保すべきとの意見もありました。また、エレベーターの設置などによるコスト増を懸念して、保育園と集会施設の併設に反対する意見もありました。

A 旧上荻窪会議室等跡地に関する意見

○集会施設とケア24の併設については、集会施設の面積が減ってしまうなどの理由から反対する意見が多く出されましたが、集会施設の使用後に気軽に立ち寄ることができたり、高齢者が相談しやすくなるなどの理由から賛成する意見もありました。

その他の論点に関する主な意見

ワークショッププランに関する疑問や、修正、追加が必要なことに関する意見

【主な意見】

- ・保育園を単独で整備するプランはないのか。
- ・遠い場所に行けない高齢者でも利用できるように、保育園は単独ではなく、集会施設と併設した方が良い。以前より面積が狭くなってしまふのは仕方がないと思う。
- ・活動場所が移動する可能性があるゆうゆう西荻北館の利用者のためにバスを運行させるという案もあると思うが、財政的な負担が課題になると思う。

【総括】

保育園を単独で整備するプランがないことに関する意見が出ました。そのほか、各プランに対して賛成する意見や懸念点に関する意見が多く出ましたが、プランそのものの修正を求める意見はありませんでした。

プランの決定等にあたり、区に大事にしてほしいことや留意してほしいことに関する意見

【主な意見】

- ・高齢者の割合は今後ますます増えてくると思うので、高齢者への配慮は必要だと思うが、それと同じくらい、次世代や若者が明日を生きる希望を持てるまちづくりをお願いしたい。
- ・高齢者が安心安全に生活できるようにするために、気軽に相談したり、人と関わられるような、利用しやすい施設にしてほしい。
- ・杉並区にずっと住み続けてほしいので、杉並で育った子ども達が、将来子育てをしたいと思える地域にしてほしい。
- ・施設は約60年利用するので、将来世代にツケを回さないために、全体最適の視点とライフサイクルコストを第一にプランを企画してほしい。
- ・高齢者が多く利用し、川に近い地域であるため、新たに整備する集会施設は、避難経路にも留意して整備してほしい。
- ・気温が年々高くなっているため、保育園の園庭は屋上ではなく地上に整備してほしい。屋上では近隣から苦情が来る可能性もある。
- ・コミュニティバスのような移動手段があれば、ゆうゆう上荻窪館とゆうゆう西荻北館が一緒になっても良いと思う。

【総括】

プラン決定にあたり大事にしてほしい視点としては、将来を担う若い世代や子どもが健やかに成長できるようにしてほしいと望む意見や、高齢者が使いやすい施設にしてほしいという意見が出ました。また、将来的なコストに関する視点の重視を求める意見や、災害時の避難経路を確保するなど、防災に関する意見も出ました。

プラン決定の時に具体的に留意してほしいこととしては、保育園の園庭を地上に設けてほしいといった意見や、ゆうゆう西荻北館の利用者の活動場所が移動する場合には、バスなどの移動手段を確保してほしいといった意見が出ました。

地域意見交換会等の開催

地域意見交換会等のスケジュール

ワークショップ参加者以外の方の意見を聞いていくため、第4回と第5回の間、対象施設の近隣住民等を対象とした意見聴取(ポスティング)を実施するとともに、地域意見交換会(オープンハウス形式)を開催しました。また、検討対象施設の利用者等に対しても、意見聴取を実施しました。

令和6年(2024年) 7月12日(金)	ゆうゆう西荻北館利用者との意見交換会 対象:ゆうゆう西荻北館利用者
令和6年(2024年) 8月 4日(日)	地域意見交換会(オープンハウス形式) 対象:検討対象施設の近隣にお住まいの方を中心とした区民等 周知方法:検討対象施設近隣へのポスティング、区ホームページ、 広報すぎなみ、区公式SNS
令和6年(2024年) 8月 7日(水)	ケア24事業者からのヒアリング 対象:ケア24の事業者
令和6年(2024年) 8月20日(火)	西荻北保育園利用者からの意見聴取 対象:西荻北保育園児の在園児保護者
令和6年(2024年) 8月21日(水) ~23日(金)	ゆうゆう西荻北館におけるパネル展示 対象:ゆうゆう西荻北館利用者
令和6年(2024年) 8月26日(月)	ゆうゆう上荻窪館利用者との意見交換会 対象:ゆうゆう上荻窪館利用者
令和6年(2024年) 8月26日(月) ~28日(水)	ゆうゆう上荻窪館におけるパネル展示 対象:ゆうゆう上荻窪館利用者
随時	区公式ホームページにおける意見受付

地域意見交換会(オープンハウス形式)でいただいた主な意見

- 8月4日に地域意見交換会(オープンハウス形式)を開催し、ワークショップに参加していない方からも、この取組に関してご意見をいただきました。
- また、地域意見交換会で展示・配布した資料を区の公式ホームページに掲載するとともに、ウェブアンケートでご意見を募集しました。
- 以上の意見募集の結果、以下のようなご意見をいただきました。

意見
ゆうゆう館も必要だが、区民同士でちょっとくつろいでおしゃべりする場所や静かに本を読んだり勉強できる場所を増やしてほしい。 コミュニティふらっとは誰でも使えるので良いと思う。昼間は高齢者メイン、夜は集会室メインになると住み分けができるのではと思う。ただし、コミュニティふらっとがゆうゆう館のようにお年寄りが使いやすいことが前提。 ゆうゆう館とケア24は、目的も利用者も違うので離れた方が良いと思う。
子どもが安全にのびのびと成長するためには、別の施設との併設をしない保育園単独が良い。さらに敷地内に地上園庭が確保されたほうが良い。 地域住民が自発的に高齢者や子どもに目を向け、助け合う地域となっていくためには、コミュニティ施設とケア24が連携していくことが必要。同一施設内にあるほうが良い。
児童館がなくなって子どもたちの居場所が失われている。子どもたちの居場所を増やしてほしい。
ゆうゆう西荻北館が狭くなることは残念だが、距離が遠くなってしまおう方々が居ることを考えると、保育園と併設のままの案は良いと思う。遠くなってしまおうと利用が困難になる方々が居るので、ゆうゆう館を無くすことには抵抗がある。
ゆうゆう館の昼間の使用稼働率は高く、上荻窪館と西荻北館が一緒になりコミュニティふらっとのシステムになると、使用時間が大幅に減少する可能性があると思う。そこで、ゆうゆう西荻北館、ゆうゆう上荻窪館を、今までの場所で、そのままの高齢者施設として残すことを希望する。
今まで使っていた方々の生活に影響ない様をお願いしたい。子どもや年配の方は近くにあって馴染みがあることが大事なので、杉並区の区民事務所を駅にまず戻し、原則全ての施設を元に戻して頂きたい。それが一番住民にとって住みやすい街だと思う。
建物が環境にどのようなコンセプトを持つのかを明確にすべきだと思う。高齢者のためか、子どものためか等の問題はこの新しい公共施設が住民にとってどのような環境的意味を持つかでのおのずと決まってくる。
高齢者は自転車では移動できない方も多いので、集会施設は小さくても点在させてほしい。これから高齢者も増えるが、健康に過ごすためにも福祉施設は増やしてほしい。ケア24とゆうゆう館は利用者層が違うので、ゆうゆう館とは離して駅近など利便性を優先した方が良いと思う。

ゆうゆう西荻北館利用者との意見交換会等

- 西荻北保育園を現在の敷地で改築する場合、保育園の延床面積が増加するため、ゆうゆう西荻北館は現在と同規模の面積を確保することが難しくなります。
- これまで区では、ゆうゆう西荻北館利用者の活動場所を可能な限り現地で確保するために、改築後の西荻北保育園に集会施設を併設するなどの検討を進めてきました。
- この検討に当たって、ゆうゆう西荻北館の利用者の方と意見交換会等を開催し、以下のような意見をいただきました。

何とかして現在の場所に活動場所を確保してほしい。

ゆうゆう館がいいと思うが、コミュニティふらっとのような世代間の交流が生まれる施設もこれから先重要だと思う。

活動場所の距離が離れてしまうと高齢者は活動を維持できない。

場所がどちらになっても、可能な限り現在の活動を維持したい。

若い方(保育園)の送り迎えは自転車で移動もできるし、遠くても良いのではないかと。高齢者は増えているし、大切にしてほしい。

保育園はほぼ毎日1日中稼働しているため、現状の場所からの移動はできるだけ避けた方が良い。

2部屋設ける案が限界のようなので、その案を受け入れるしかないと思う。
ただ、活動の状況を踏まえて、音を出す団体と静かな活動をする団体が一緒に活動できるような工夫をしていただきたい。

併設する保育園とコミュニケーションをとれる機会があるなど、現在の配置が良い。

西荻地域区民センターもラウンジがあるが、若い人に占領されている。コミュニティふらっともそうなるのではないかと。ゆうゆう館が良い。

西荻北保育園とゆうゆう館併設が良い。ゆうゆう館が狭くてもいいので現在の場所が良い。

記載の意見以外にも様々な意見をいただきました。

ゆうゆう上荻窪館利用者との意見交換会等

- ワークショップにおいてゆうゆう上荻窪館は、旧上荻窪会議室等跡地に整備する集会施設(コミュニティふらっとorゆうゆう館)へ、機能継承・移転する方針で検討しています。
- その他、旧上荻窪会議室等跡地に整備する集会施設にケア24を併設するかどうかによって、利用できる部屋数が変わるなどの論点があります。
- この検討に当たって、ゆうゆう上荻窪館の利用者の方と意見交換会等を開催し、以下のような意見をいただきました。

コミュニティふらっととゆうゆう館で大きな違いは感じない。

ケア24とゆうゆう館はセットの方が相談しやすく良いが、ケア24は頻繁に行く場所ではないため、併設により部屋数が少なくなるくらいなら、旧上荻窪会議室跡地と杉並会館とで場所を分けてほしい。

更地期間が長いのは勿体ないから早く建物を建ててほしい。

新しくできる施設にはエレベーターはつくのか。スロープは上るのが大変である。

部屋がたくさんあるなら大丈夫だが、ゆうゆう西荻北館の人も利用することを考えると、煩雑になってしまうのではないかと。抽選はしたくない。

ゆうゆう館からコミュニティふらっとになった施設は明るくて便利になった。ゆうゆう館やコミュニティふらっとなどの名前にこだわりはない。

ゆうゆう館では、運営法人がいろいろ考えて地域をつなぐようなことをやっている。ケア24と連携して、すべての層の福祉を視野において、地域をつなぐ協働事業を期待したい。

元気な高齢者も時間の経過の中で、ケアが必要となってくる人もいる。ゆうゆう館とケア24が併設されていることで、高齢者をきめ細かくサポートしていくことを期待したい。

ケア24上荻の運営事業者からのヒアリング

○これまでのワークショップにおいてケア24については、①杉並会館内に存置、②西荻北保育園との併設、③旧上荻窪会議室跡地に整備する集会施設との併設の3つの可能性を検討してきましたが、ケア24上荻の運営事業者から、以下の意見をいただきました。

ワークショッププラン①について(ケア24は杉並会館内に存置)

杉並会館の天井の構造上、相談室を簡易パーテーションで区切らざるを得ない状況なので、現在、ゆうゆう上荻窪館が使用している部屋を相談室として使うことができるのであればありがたい。

建替えの場合、一時移転だとしても、民間物件への移転には課題がある。

⇒課題①…一時移転先(または恒常的な移転先)に適した物件が見つかるのか。民間賃貸物件を選ぶ際、2階以上の部屋の場合は(電動車椅子など大きめのものでも入れる)エレベーターの確保が必要と考えている。また、ケア24専用の自転車置場(職員用5~6台+来所者用)の確保の必要がある。

⇒課題②…区立施設と併設でなくなり、新しい建物と離れるので、ケア24認知度(存在感)が薄れる。

ワークショッププラン②について(ケア24は西荻北保育園との併設)

園児の親の親(祖父母)世代が保育園の送迎をしている場合もある。その親(曾祖父母世代)の介護をしているダブルケアケースもあるから良い面もある。

併設した方が、ケア24が寝たきりや要介護者の相談支援だけというイメージが払拭されるのではと思う。

(電動)車いすで来所される方もいるので、そこに配慮したルートが必要。また、エレベーターも適したサイズでないと利用者が困る場合がある。

ケア24専用の自転車置場(職員用5~6台+来所者用)が必要になる。保育園と共用でもよいが、トラブル・事故防止の観点で区画は分けた方がよい。

ワークショッププラン③について(ケア24は旧上荻窪会議室等跡地に整備する集会施設との併設)

これまでも、ゆうゆう館利用団体のメンバーが、「認知症になった」や「最近、様子が…で来なくなった…」等の相談を受けることがあった。そういったケースのケアプランには、介護保険サービス外サービスとして、ゆうゆうの活動を入れたりする等、継続して活動できるような支援を考えている。支援対象者だけでなく、利用団体ともコミュニケーションが取れて良い。

ケア24専用の職員用の自転車置場(職員用5~6台+来所者用)が必要。集会施設利用者用として駐輪場が広く設置されるのであれば、ケア24来所者用を区別しての設置は不要。

法人としての希望

ワークショッププラン③を希望している。併設によるメリットを感じるし、杉並会館に残った場合と比べ、将来的な移転先を考える必要がなくなる。ケア24を同じ場所で長く運営できて良い。

民間賃貸物件の場合、エレベーターが適切なサイズであるかや、ケア24専用の自転車置場(職員用・来所者用)の確保が懸念されるほか、他自治体で運営している地域包括支援センターでは、大家からの退去要請があり、退去することになった例もある。

西荻北保育園利用者(保護者)からの意見聴取

○これまでのワークショップにおいて西荻北保育園については、①集会施設との併設、②ケア24との併設について検討してきました。

また、併設施設の配置によっては園庭面積に影響が出るため、園庭を屋上に設けるか、地上に設けるかどうか検討のポイントとしていました。

○この検討に当たって、西荻北保育園の利用者から、以下のような意見をいただきました。

集会施設との併設について

高齢者施設の移動距離を考慮すると保育園の単独整備の実現は難しいと感じた。

高齢者との交流があると良い。

集会施設利用者の声が聞こえるのはお互いにとって良い面があると思う。

保育園を利用しているも、同一建物内に他施設(ゆうゆう館)があることを実感することはない。

ケア24との併設について

ケア24との併設について、ダブルケアラーにはメリットがあるが、該当するのはほんの一部であると思う。

園庭について

屋上園庭はあまりイメージがわからない

園庭が広くて砂場があるところが良いと思って西荻北保育園を選んだので、(屋上園庭よりも)地上園庭の充実を希望する。

屋上園庭と地上園庭で分けられると多年齢での遊びが出来なくなる。地上園庭を確保してほしい。

その他

仮移転先は遠くなるのが気になるが、施設が良くなるならやむを得ない。